I-O DATA

取 扱 説 明 書 【準 備 編】

次世代デジタルコンテンツサーバー

RECBOX DR　　HVL-DRシリーズ

ダビングや再生の方法については、別冊の【活用編】をご覧ください。

B-MANU202198-02
M-MANU201445-02

もくじ

はじめに 3
内容物を確認する 4
動作環境を確認する 5

設置する 8
ネットワークにつなぐ 9
電源を入れる／切る 10

端末を準備する 12
Android機を準備する 13
iPhone,iPad,iPod touchを準備する 16
Windowsパソコンを準備する 20

付録 22
安全のために 23
使用上のご注意 25
各部の名称 27
仕様 29

アフターサービス 32

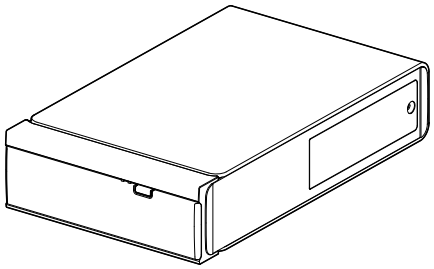
はじめに

RECBOXを設置する前に確認していただきたい内容が記載されています。

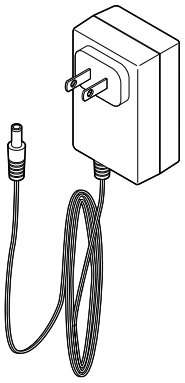
内容物を確認する……4
動作環境を確認する……5
- 対応機器……5
- 対応OS……5
- DR Controller……5
- DiXiM Play SE……6
- RECBOXの設定に必要なソフトウェア……7

内容物を確認する

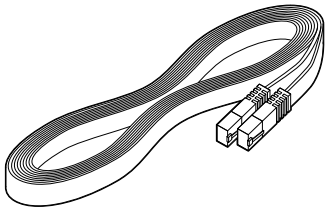
☐ RECBOX（1台）



☐ ACアダプター（1個）



☐ LAN ケーブル(1本)



☑ 取扱説明書【準備編】（本書：1冊）

☐ 取扱説明書【活用編】（1冊）

ユーザー登録について

「IOPortal」で登録できます。 **https://ioportal.iodata.jp/**

ユーザー登録に必要なシリアル番号(S/N) は、RECBOXの背面のシールに印字された12 桁の英数字です。

動作環境を確認する

対応機器

動作確認済みの機器については、弊社Webページをご覧ください。
http://www.iodata.jp/dtcpip/

対応OS

Windows 8.1 (32ビット版 / 64ビット版)
Windows 8 (32ビット版 / 64ビット版)
Windows 7 (32ビット版 / 64ビット版)
Mac OS X 10.7 ～ 10.10
iOS 7.0.4 ～ 8.3
Android 4.1 ～ 5.0

DR Controller

RECBOXの設定をするためのアプリケーションです。

■Android版

CPUアーキテクチャ	ARM v7 アーキテクチャ
コア数	2コア以上
クロック	1.2GHz以上
Android OS	Android OS 4.1 ～ 5.0

■iOS版

対応OS	iOS 7.0.4 ～ 8.3	
対象デバイス	iPod touch	第5世代
	iPhone	4S/5/5s/5c/6/6 Plus
	iPad	第2世代/第3世代/第4世代
	iPad mini	第1世代/第2世代
	iPad Air	第1世代

■Windows版

対応OS（日本語版）	Windows 8.1 (32ビット版 / 64ビット版)	
	Windows 8.1 Professional (32ビット版 / 64ビット版)	
	Windows 8 (32ビット版 / 64ビット版)	
	Windows 8 Professional (32ビット版 / 64ビット版)	
	Windows 7 (32ビット版 / 64ビット版)	
CPU	インテル®	Core i3 2.0GHz以上
		ATOM Z2760以上
		Celeron (Haswell以降)

DiXiM Play SE

RECBOX内のコンテンツを再生するためのアプリケーションです。

Android版	CPUアーキテクチャ	ARM v7 アーキテクチャ	
	コア数	2コア以上	
	クロック	1.2GHz以上	
	RAM	1GB以上	
	ハードウェア	H.264デコーダ搭載のSoC	
	Android OS	Android OS 4.1 ～ 5.0	
iOS版	対応OS	iOS 7.0.4 ～ 8.3	
	対象デバイス	iPod touch	第5世代
		iPhone	4S/5/5s/5c/6/6 Plus
		iPad	第2世代/第3世代/第4世代
		iPad mini	第1世代/第2世代
		iPad Air	第1世代
Windows版	対応OS（日本語版）	Windows 8.1 (32ビット版 / 64ビット版)	
		Windows 8.1 Professional (32ビット版 / 64ビット版)	
	CPU	インテル®	Core i3 2.0GHz以上
			ATOM Z2760以上
			Celeron (Haswell以降)
	グラフィックス(GPU)	インテル HD Graphics 4000以降	
	メモリ	2GB 以上	
	ファイル機器	HDD またはSSD が必須	
	ハードディスク必要容量	50MB 以上	
	サウンドデバイス	Windows 互換サウンドデバイス必須	
	ディスプレイ	1024x768ピクセル以上　High Color 以上	
	インターネット接続環境	必須 ※初回起動時のライセンス認証に使います。 また、起動時にアップデートをチェックします。	

RECBOXの設定に必要なソフトウェア

RECBOXの設定には、アプリ「DR Controller」※をお使いいただくか、以下のWebブラウザーが必要です。

Windowsパソコン	Internet Explorer 9.0 ～ 11.0
Apple Macシリーズ	Safari 5.0 ～ 7.1

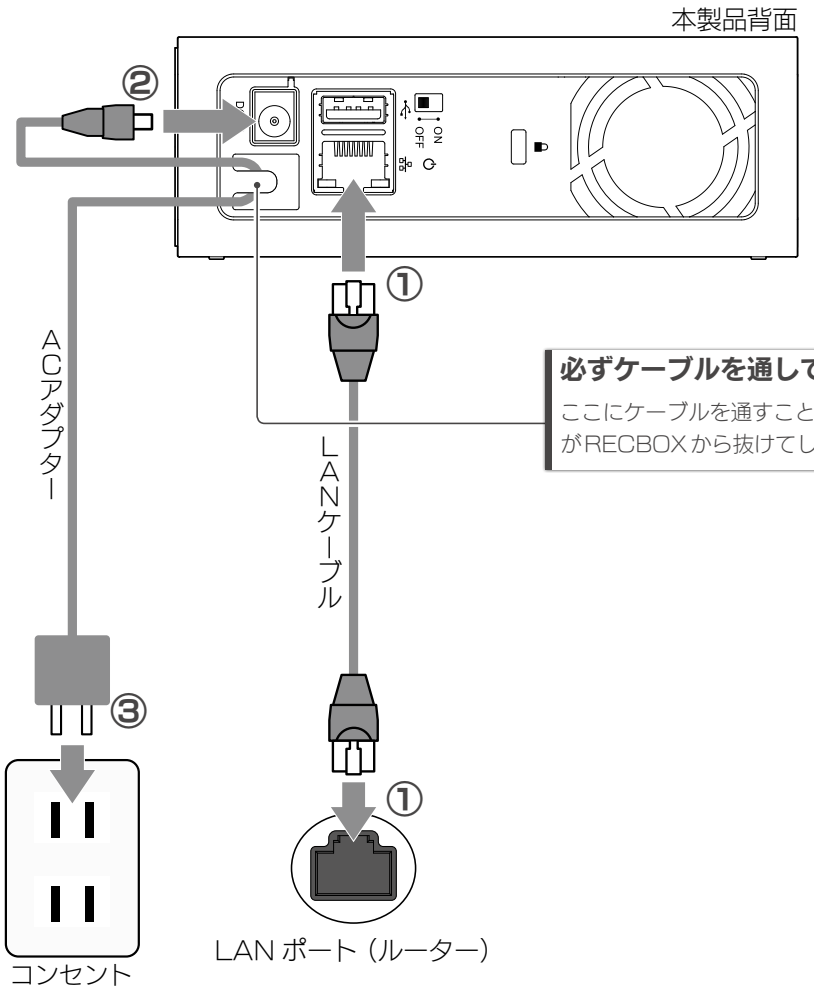
※DR ControllerはMac OSには非対応です。
Mac OSをお使いのお客様はSafariで設定してください。
方法については、別冊の活用編の【困ったときには】をご覧ください。

設置する

RECBOXを使えるようにするための手順を記載しています。
RECBOXを他の機器とつないで、電源を入／切します。

ネットワークにつなぐ……9
電源を入れる／切る……10
電源を入れる……10
電源を切る……11

ネットワークにつなぐ



必ずケーブルを通してください

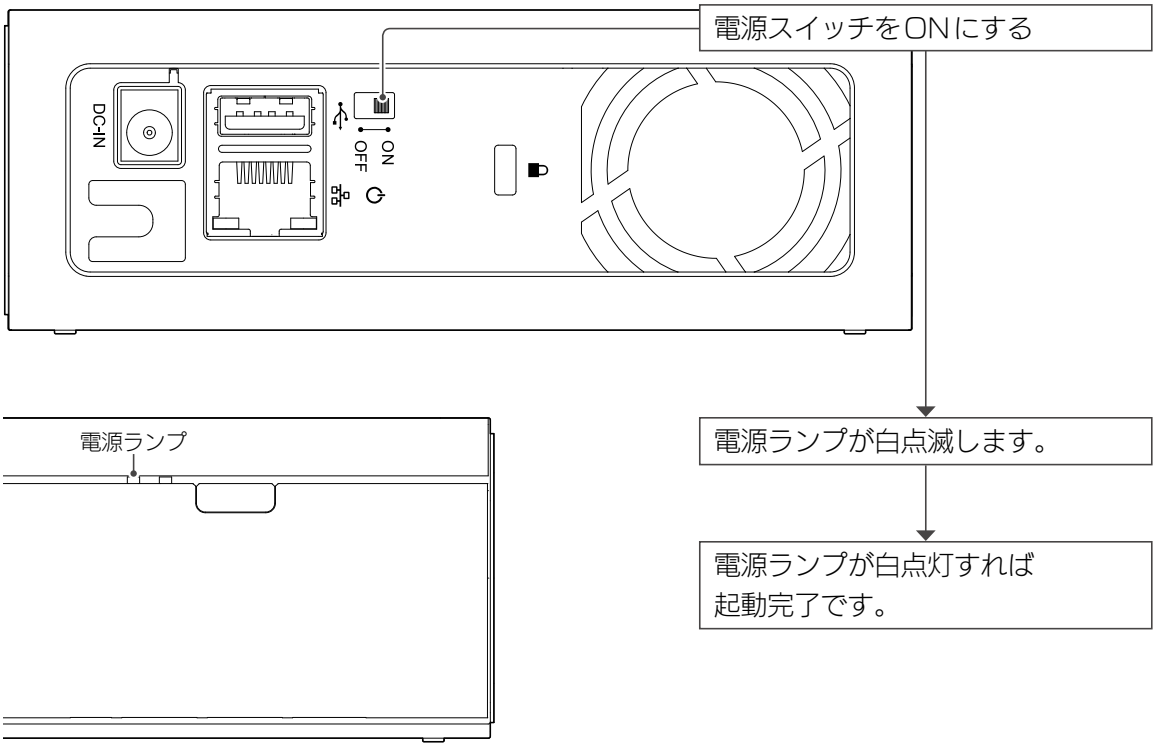
ここにケーブルを通すことで、不用意にACアダプターがRECBOXから抜けてしまうのを防止できます。

RECBOXの電源を入れる前に、ルーターやハブにつないでください

RECBOXの電源を入れてからルーターやハブにつなぐと、RECBOXが正しく起動しないおそれがあります。

電源を入れる／切る

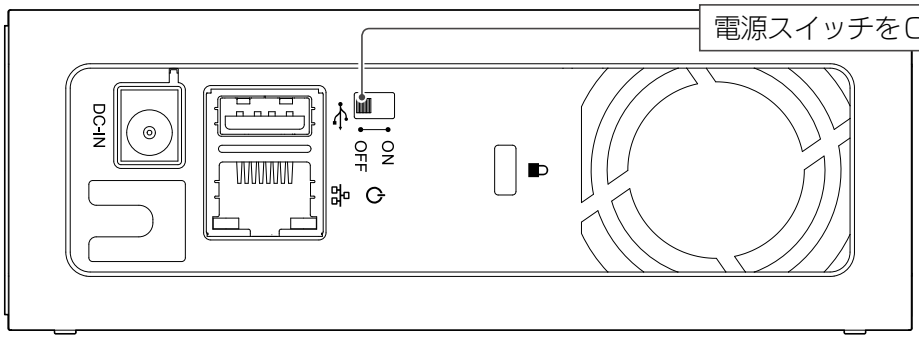
電源を入れる



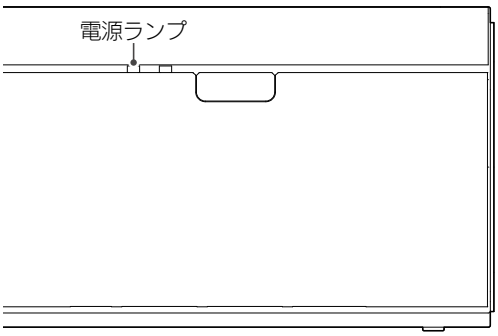
電源ランプが赤点滅している

RECBOXに問題が発生しています。
【電源ランプによるエラー / メッセージの表示】(30ページ)をご覧ください。

電源を切る



電源スイッチをOFFにする



電源ランプが白点滅します。

電源ランプが消灯すれば
電源は切れています。

次に、端末を準備します。
【端末を準備する】(12ページ)をご覧ください。

端末を準備する

RECBOXを操作する端末に、操作用のアプリケーションをインストールします。

Android機を準備する……13
iPhone,iPad,iPod touchを準備する……16
Windowsパソコンを準備する……20

DiXiM IDについて

コンテンツ再生用アプリケーション「DiXiM Play SE」をお使いいただくには、DiXiM IDを登録していただく必要があります。（登録の手順は各端末の手順に記載されています。）
DiXiM IDは、各端末の「DiXiM Play SE」に共通してお使いいただけます。
※RECBOXをDiXiM IDに登録することで、Android・iOS・Windows各1台の端末で「DiXiM Play SE」をお使いいただけるようになります。
さらに多くの端末で「DiXiM Play SE」をお使いになりたい場合は、
DiXiM Play SE製品サイト（http://www.digion.com/diximplay/nas/）をご覧ください。

端末の対応について

【動作環境を確認する】(5ページ)をご覧ください。

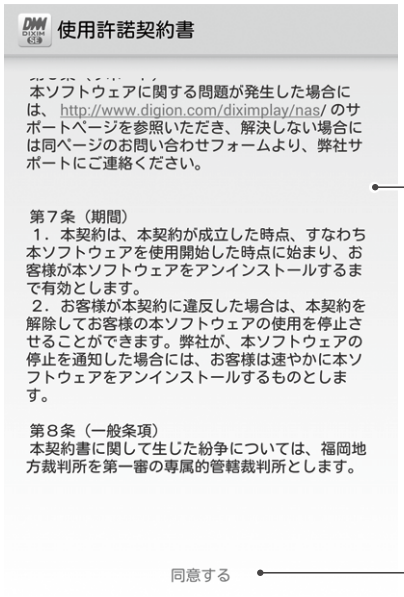
Android機を準備する

1 Google Playで「DR Controller」「DiXiM Play SE」をインストールする

2

[DiXiM Play SE] をタップ

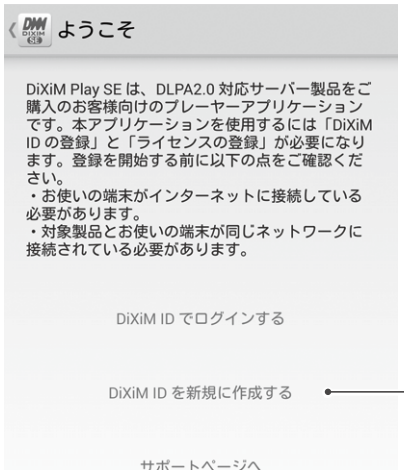
3



①内容を確認する

②［同意する］をタップ

4

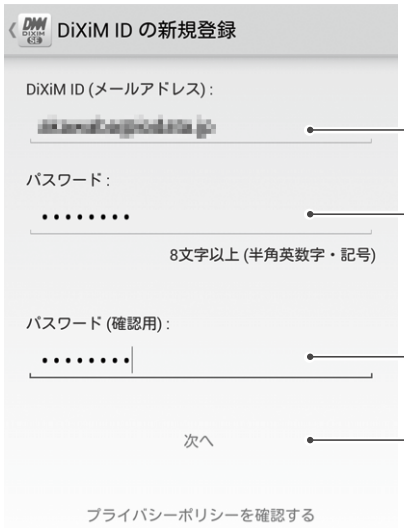


［DiXiM IDを新規に作成する］をタップ

DiXiM IDがある場合

iOSやWindowsでDiXiM Play SEをインストールしたなど、すでにDiXiM IDがある場合は、［DiXiM IDでログインする］をタップして画面の指示に従ってください。

5



①Eメールアドレスを入力

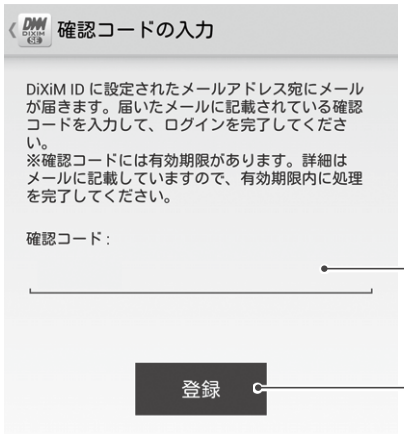
②パスワードを入力

③ ②と同じ内容を入力

④ [次へ] をタップ

入力したEメールアドレスに
確認コードが記載されたメールが
届けられます。

6



① メールに記載された確認コードを
入力

② [登録] をタップ

7

[dlpa-nas-xxxxxx] をタップ

8

①端末の名前を任意な内容で入力
※決められた名前などはありません。

②［有効化］をタップ

これでRECBOXを使う準備が整いました。
別冊の『取扱説明書【活用編】』をご覧ください。

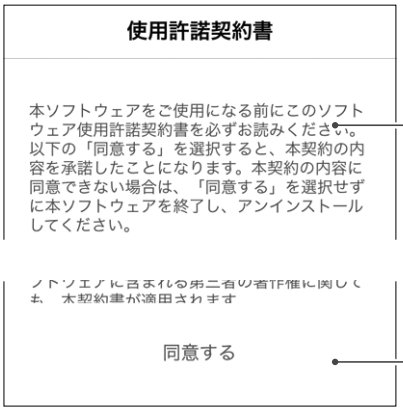
iPhone,iPad,iPod touchを準備する

1 App Storeで「DR Controller」「DiXiM Play SE」をインストールする

2

[DiXiM Play SE] をタップ

3



①内容を確認する

②[同意する] をタップ

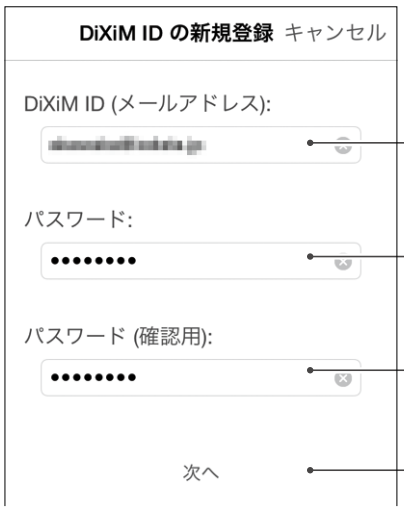
4

[DiXiM IDを新規に作成する] をタップ

DiXiM IDがある場合

AndroidやWindowsでDiXiM Play SEをインストールしたなど、すでにDiXiM IDがある場合は、[DiXiM IDでログインする] をタップして画面の指示に従ってください。

5



①Eメールアドレスを入力

②パスワードを入力

③ ②と同じ内容を入力

④[次へ] をタップ

入力したEメールアドレスに
確認コードが記載されたメールが
届けられます。

6

①メールに記載された確認コードを
入力

②[登録] をタップ

7

[dlpa-nas-xxxxxx] をタップ

8

[登録] をタップ

9

[ダウンロード] をタップ

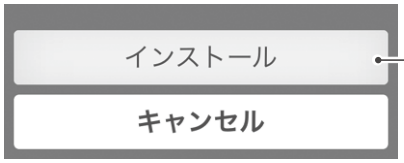
10

[証明書のインストールを開始する] をタップ

11

［インストール］をタップ

12



［インストール］をタップ

13

［完了］をタップ

これでRECBOXを使う準備が整いました。
別冊の『取扱説明書【活用編】』をご覧ください。

Windowsパソコンを準備する

2つのアプリケーションで対応OSが異なります

再生用アプリケーション「DiXiM Play SE」は、Windows 8.1 のみ対応です。
詳しくは、【動作環境を確認する】(5ページ)をご覧ください。

1 弊社Webページより「DR Controller」をインストールする

http://www.iodata.jp/r/4824

※URLはHVL-DR4.0のものですが、リンクされているアプリケーションは共通です。

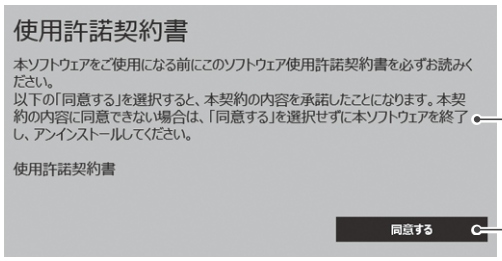
2 Windowsストアより「DiXiM Play SE」をインストールする

3 Windows 8.1 のアプリ画面を開く

4

[DiXiM Play SE] をクリック

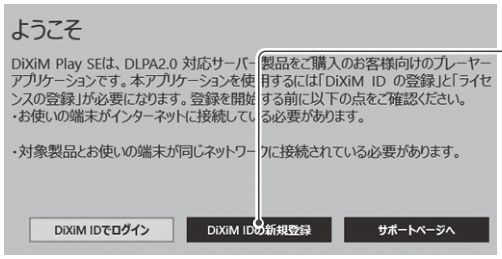
5



①内容を確認する

②[同意する] をクリック

6

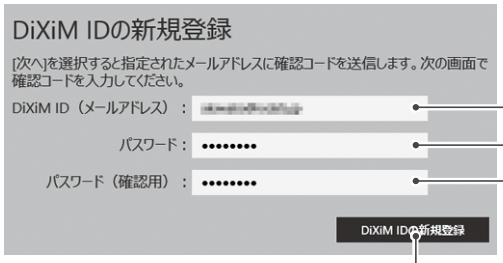


[DiXiM IDの新規登録] をクリック

DiXiM IDがある場合

AndroidやiOSでDiXiM Play SEをインストールしたなど、すでにDiXiM IDがある場合は、[DiXiM IDでログイン] をクリックして画面の指示に従ってください。

7



①Eメールアドレスを入力

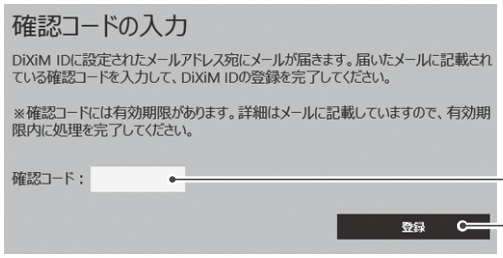
②パスワードを入力

③ ②と同じ内容を入力

④ [DiXiM IDの新規登録]をクリック

入力したEメールアドレスに
確認コードが記載されたメールが
届けられます。

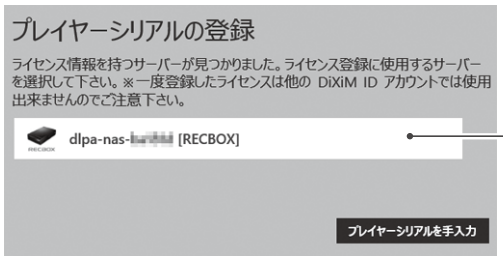
8



① メールに記載された確認コードを
入力

② [登録] をクリック

9



[dlpa-nas-xxxxxx] をクリック

10

① 端末の名前を任意な内容で入力
※決められた名前などはありません。

② [有効化] をクリック

これでRECBOXを使う準備が整いました。
別冊の『取扱説明書【活用編】』をご覧ください。

付録

安全のために……23
使用上のご注意……25
各部の名称……27
前面……27
背面……28
仕様……29
ハードウェア仕様……29
電源ランプによるエラー / メッセージの表示……30
文字制限……31
対応ファイルフォーマット……31

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

警告および注意表示

⚠ **危険** この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負う危険が生じます。

⚠ **警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。

⚠ **注意** この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

絵記号の意味

禁止

指示を守る

⚠ 危険

本製品を修理・改造・分解しない
火災や感電、破裂、やけど、動作不良のおそれがあります。

⚠ 警告

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない
感電のおそれがあります。

ACアダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から浸み込み、火災・感電のおそれがあります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺で使う際は、特にご注意ください。
・水の入ったもの(コップ、花びんなど) を上に置かないでください。
・掃除は必ず乾いた布で拭いてください。
・万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使わないでください。

本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害のおそれがあります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
火災のおそれがあります。

故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、火災・感電・故障のおそれがあります。

本製品の取り付け・取り外し・移動の際は、必ず先にパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く
電源プラグを抜かずに行うと、感電のおそれがあります。

煙が出たり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止め、コンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと、火災・感電のおそれがあります。

ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない
発火、発熱の恐れがあります。

ACアダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると傷が付き、火災や感電のおそれがあります。

添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。
添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象) トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

じゅうたん・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
火災のおそれがあります。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、接触不良などの原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使う、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量(「1500W」などの記載) を超えて使うと、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

給電されているLANケーブルは絶対につながない
給電されているLAN ケーブルをつなぐと、発煙や火災のおそれがあります。

⚠ 注意

本製品を踏まない
破損し、ケガをするおそれがあります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛け、けがをするおそれがあります。

使用上のご注意

定期的にバックアップしてください

RECBOXは精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、RECBOX内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」してください。
RECBOXまたは接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因でRECBOXにデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

バックアップとは

RECBOXに保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVDなど）にデータを複製することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。）
万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。
不測の事態に備えるために、必ずバックアップしてください。

RECBOXを廃棄や譲渡などされる際のご注意

●ハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットしただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用して、データを復元・再利用できてしまうことがあります。その結果として、情報が漏洩してしまうおそれもあります。
そのため、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。
※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
●RECBOXを廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

使用ソフトウェアについて

●RECBOXには、GNU General Public License Version3（GPLv3）に基づいた、ソフトウェアを使用しております。変更済みGPL対象モジュール、GNU General PublicLicense、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

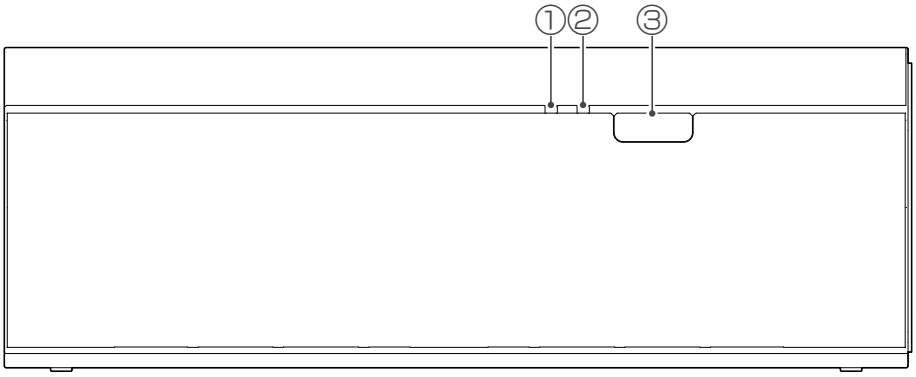
VCCI-B

その他のご注意

●録画中や[電源]ランプ点滅中などの動作中に、ACアダプターを抜いたり、RECBOXやUSB HDDの電源は切らないでください。故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。
●RECBOXは、DHCPサーバーがある環境では、自動的にIPアドレスが割り当てられます。
ただし、DHCPサーバーのない環境では、ネットワークに応じたIPアドレスを設定する必要があります。
●RECBOXはローカルネットワーク上でご利用ください。
RECBOXにグローバルIPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。
●RECBOXを複数台ネットワークに導入する場合は、RECBOXの「IPアドレス」をそれぞれ異なる数値にする必要があります。
●RECBOX内蔵HDDは、RECBOX専用フォーマットでフォーマットされています。
他のフォーマット形式(FAT、NTFSなど) にフォーマットすることはできません。
●設定画面上から行うハードディスクのチェックディスクに要する時間は、ハードディスクの状態や容量により大きく異なります。通常は、非常に短い時間で終わりますが、ハードディスクの状態により、数分から数時間程度の時間を要することがあります。
●再生に使うテレビやレコーダーによっては、録画番組を再生できない場合があります。
●トランスコード機能は、同時に複数のストリームに使うことはできません。1ストリームのみトランスコード機能を使うことができます。

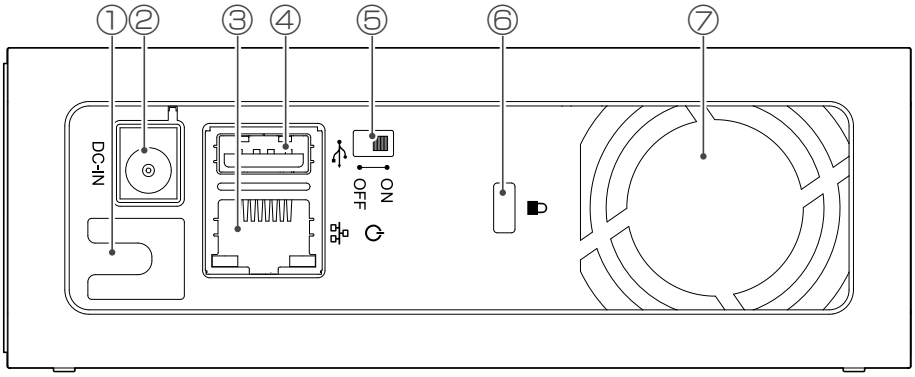
各部の名称

前面



①電源ランプ	白	点灯	動作中です。
		点滅	起動中・終了中です。
	赤	点滅	エラー発生中です。 【電源ランプによるエラー / メッセージの表示】（30ページ）参照
	橙	点灯	新しいファームウェアがあります。
		点滅	メッセージがあります。 【電源ランプによるエラー / メッセージの表示】（30ページ）参照
	消灯	−	電源が切れています。
②ファンクションランプ	白	点灯	●USB機器の取り付けを認識（60秒間） この間にファンクションボタンを2秒間押すと、RECBOXにUSB機器のデータがコピーされます。 コピー中は、このランプが点滅します。 消灯したら、そのままUSB機器を取り外してください。 ●USB機器を取り外し中 USB機器を取り付けた後、データコピーをせずに、このランプが消灯した場合、ファンクションボタンを2秒間押すと、このランプが点灯し、USB機器が取り外されます。 消灯したら、そのままUSB機器を取り外してください。
		点滅	●RECBOXにデータをコピー中 ●初期化準備・初期化中 ファンクションボタンを押したまま、電源スイッチをONにすると、このランプが点滅します。その状態でファンクションボタンを押すと、簡易初期化が開始されます。
③ファンクションボタン	USB機器のデータコピーや取り外し、RECBOXの初期化に使います。 詳しくは、②ファンクションランプの説明をご覧ください。		

背面



①フック	添付のACアダプターのケーブルを通し、不用意に抜けないように固定します。
②電源コネクター	添付のACアダプターをつなぎます。
③LANポート	添付のLANケーブルをつなぎます。
④USBポート	データコピーをしたいUSB 機器をつなぎます。 ※USBハブを経由してUSB機器をつなぐことはできません。
⑤電源スイッチ	ONにすると、電源が入ります。 OFFにすると、RECBOXがシャットダウンされます。 電源ランプが消灯するまで、コンセントから取り外さないでください。
⑥セキュリティースロット	盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。
⑦ファン	冷却用ファンです。ふさがないでください。

仕様

ハードウェア仕様.....29
電源ランプによるエラー / メッセージの表示.....30
文字制限.....31
対応ファイルフォーマット.....31

ハードウェア仕様

インターフェイス	LAN	転送規格：1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T コネクター：RJ-45x1 (Auto-MDI/MDI-X 対応)
	USB ポート	転送規格：USB 2.0/1.1 コネクター：USB A コネクター x1（バスパワー非対応）
ネットワーク	ファイルサーバー機能	DLNA Server 機能 (DiXiM Media Server 5)、 Windows ファイルサービス、Web フォルダサービス
	対応規格	DLNA 1.5、DTCP-IP 1.4、JLabs SPEC-020、 DLPA NAS Level.3+ リモートアクセス 2.0
	同時録画 / 再生 / ダビング数	3 ストリームまで ※ DTCP+ リモート配信は同時 1 配信に制限されます。 ※他メディアサーバーのコンテンツをデジタルラックから再生する場合、最大 2 ストリームを使います。
	IP アドレス設定	・自動取得 (DHCP クライアント機能)、AutoIP ・手動設定
	時刻あわせ	NTP 対応
一般仕様	電源	DC12V　2.0A
	外形寸法	127mm(W) x 210mm(D) x 45mm(H)
	質量	約 1.3kg（本体のみ）
	設置環境	縦置き / 横置き ※本製品は次のような場所に設置して下さい。 ・前後方向 10cm に物がない場所 ・水平で安定した場所 ※発熱物の上に設置しないで下さい。 ※本製品の重ね置きはできません。
	使用温度範囲	5 ～ 35℃
	使用湿度範囲	20%～ 80%（結露なきこと）
	各種取得規格	RoHS 指令準拠、VCCI ClassB

電源ランプによるエラー / メッセージの表示

■赤点滅(エラー)

コード	光り方	エラー内容	対処
11	▬ ▪	システムが起動しない	
21	▬ ▬ ▪	ファンの回転数に異常がある	ファンの回転数を一定期間監視し、正常に戻らなければ電源が切れます。電源が切れた場合は、時間を置いてから、起動してみてください。
22	▬ ▬ ▪ ▪	システムの温度上昇が保障値を超えた	温度を一定期間監視し、下がらなければ電源が切れます。電源が切れた場合は、時間を置いてから、起動してみてください。
23	▬ ▬ ▪ ▪ ▪	ハードディスクに異常がある	ハードディスクを読み取り専用として認識します。大事なデータを退避してください。
31	▬ ▬ ▬ ▪	ハードディスクのデータ領域のマウントに失敗した	

■オレンジ点滅(メッセージ)

コード	光り方	メッセージ内容
11	▬ ▪	システムの温度上昇が保障値を超える可能性がある
21	▬ ▬ ▪	ハードディスクをフォーマット中
22	▬ ▬ ▪ ▪	ハードディスクをチェック中
23	▬ ▬ ▪ ▪ ▪	ハードディスクのデータを消去中
24	▬ ▬ ▪ ▪ ▪ ▪	システム初期化中
25	▬ ▬ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪	RECBOX のファームウェアをアップデート中
26	▬ ▬ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪	Web 設定初期化中

ランプの光り方

コードの「10の位」と「1の位」をそれぞれの光り方で表示します。
「10の位」は長い点滅(1秒間)、「1の位」は短い点滅(0.5秒間)の回数で数字を表します。
例えば、23の場合、長い点滅が2回、短い点滅が3回を繰り返します。
詳しくは、弊社Webページ(**http://www.iodata.jp/lib/manual/power-led/**)をご覧ください。

文字制限

項目名	文字数	備考
本製品の名前	４～１５文字	設定画面上で使用できる文字 半角英数文字 (0 ～ 9 A ～ Z a ～ z) アンダーバー _ ハイフン – (数字やハイフン - で始まる文字列は不可)
ファイルや フォルダー名	半角 255 文字 (全角 85 文字) まで	使用する文字種によっては左記の数値よりも少なくなる場合があります。 Windows 8.1/8/ 7では他の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。 よって Windows 8.1/8/ 7でのみ使用可能な文字を共有フォルダーに保存するファイル名やフォルダー名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。 Windows 8.1/8/ 7と他の Windows との間で文字表示について問題が発生しないようにするには Microsoft 社の公開情報 (http://www.microsoft.com/ja-jp/windows/products/windowsvista/jp_font/default.aspx) にある、「Microsoft Windows Vista および Windows Server 2008 における JIS X 0213:2004 (JIS2004) 対応について」の「フォントパッケージと JIS2004 への移行シナリオ」に沿った対応をする必要があります。 ●設定画面で使用できない文字（フォルダー名のみ） \ / : * ? " < > ¦ . .(ドット) はフォルダー名の先頭のみ使用できません。
タイトル	半角 255 文字 (全角 85 文字) まで	設定画面で使用できない文字 .(ドット) のみ .(ドット) はタイトル名の先頭のみ使用できません。

対応ファイルフォーマット

RECBOX は、以下のファイルフォーマットに対応しています。
ただし、再生にはプレーヤー側も該当のファイルフォーマットの再生に対応している必要があります。
DLNA 再生を行うためには、再生を行う各ファイルが DLNA 規格に合致した形式である必要があります。
※ファイルによっては、以下のファイル拡張子でも再生できない場合があります。

動画	3gp	avi	divx	mp4	m4v	mov	mpg	m2p	mpe	mpeg	vob
	tts	asf	dvr-ms	wmv	mts	m2ts					
画像	bmp	gif	jpeg	jpg	jps	mpo	png	tiff	tif		
音楽	ogg	lpcm	pcm	m4a	m4b	mp3	wav	wma	flac		

アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー
（**http://www.iodata.jp/privacy.htm**）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせについて

■「DiXiM Play SE」についてのお問い合わせ

弊社では、「DiXiM Play SE」に関するサポートをいたしておりません。

DiXiM Play SEに関するサポートは、株式会社デジオンで行っております。

■サポートページ（FAQ・お問い合わせフォーム）

DiXiM Play SE iOS版：
http://support.digion.com/diximplay_ios/
DiXiM Play SE Android版：
http://support.digion.com/diximplay_android/
DiXiM Play SE Windows ストア アプリ版：
http://support.digion.com/diximplay_windows/

■DiXiM Play SE製品サイト

http://www.digion.com/diximplay/nas/

■営業時間

月曜日～金曜日 10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00
（祝祭日および株式会社デジオンの特別休業日は除く）

■RECBOX本体や「DR Controller」についてのお問い合わせ

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- **「困ったときには」（活用編・73ページ）を参照**
- **サポートページのQ&Aを参照**
- **最新のソフトウェアをダウンロード**

http://www.iodata.jp/r/4824

※ URLはHVL-DR4.0のものですが、リンクされている内容は基本的に共通です。

それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

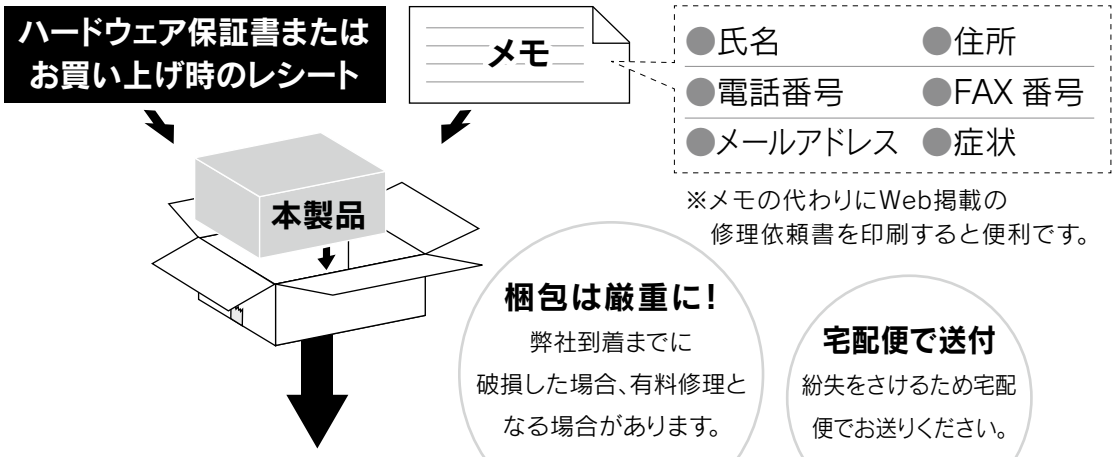
電話：050-3116-3015
※受付時間 9:00～17:00　月～日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）

FAX：076-260-3360

インターネット：http://www.iodata.jp/support/

＜ご用意いただく情報＞
製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

- 送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内します。（見積無料）
  金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
  バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品を送る前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えてください。

修理について詳しくは以下をご確認ください

http://www.iodata.jp/support/after/

■ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。) の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

1） 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
2） 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
3） ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
4） 中古品でご購入された場合
5） 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
6） お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
7） 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
8） 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
9） 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
10) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
11) 弊社が寿命に達したと判断した場合
12) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
13) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1） 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2） 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3） 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4） 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1） 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2） 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3） 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provides the service under this warranty only in Japan.

以上

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。
(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4) お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft、Windows は、米国または他国における Microsoft Corporation の登録商標です。
● Windows 8、7 は、それぞれ Windows® 8、Windows® 7 operating system の略称として表記しています。
● Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 アイ・オー・データ機器
ホームページ　http://www.iodata.jp/

35020667-02